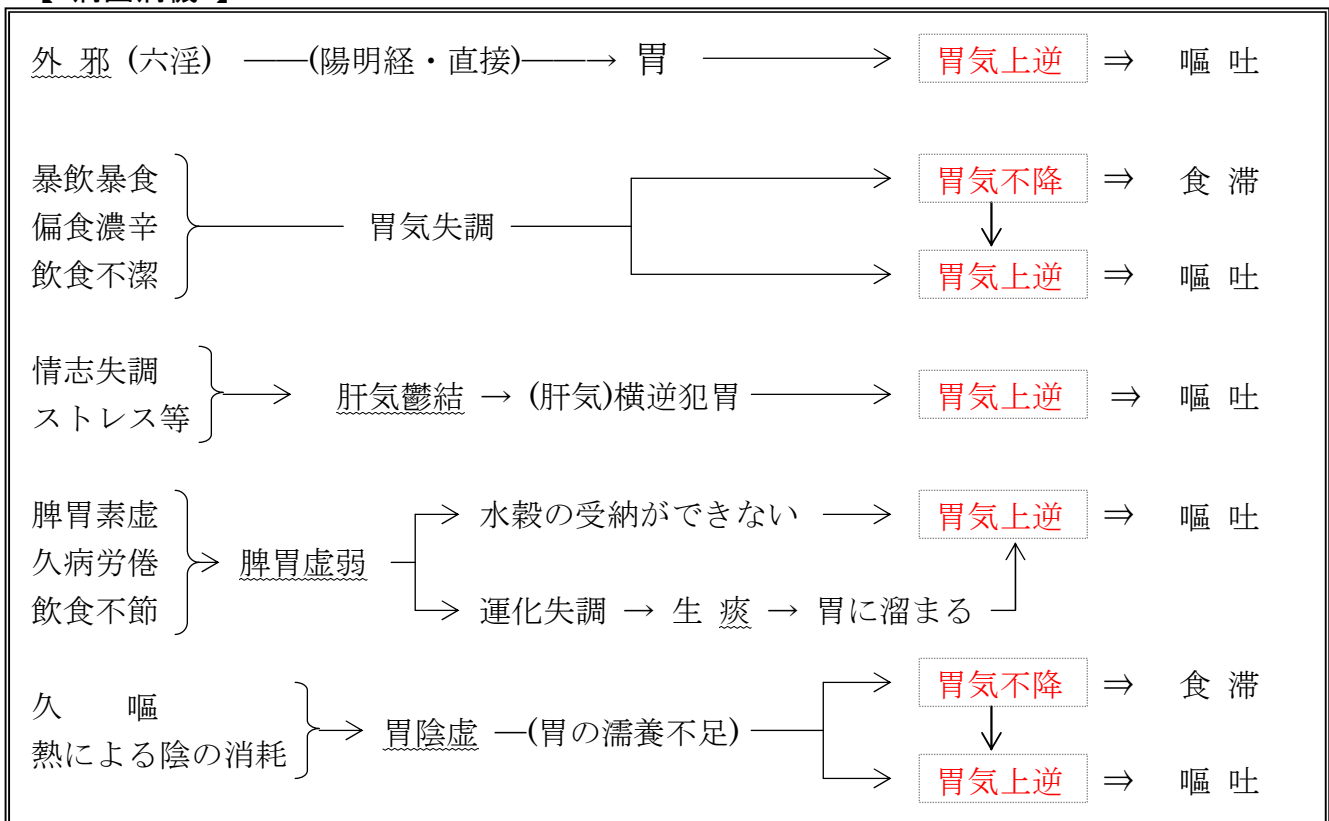


第10講 『悪心と嘔吐』

: 悪心 - 吐き気 ; 嘔吐 { 嘔 - 有声無物 (乾嘔)
吐 - 有物無声

【分類】 { 実証 : 外邪、食滯、肝鬱、痰飲
虚証 : 脾胃虚弱、胃陰虚

【病因病機】



【病機の要点】

- * 嘔吐は [胃気上逆] により水穀が口からもどることをいう。
- * また、[胃気不降] では嘔吐は生じないが水穀の停滞により [食滯] が発生する。

【弁証の要点】

(1) 実嘔・虚嘔

- 実嘔 : 発症が急、病程が短い、嘔吐量が多く酸腐臭が強い。
- 虚嘔 : 発症が緩慢、病程が長い、嘔吐は無力で量は多くない、酸腐臭は強くない。

(2) 嘔吐物

- 酸腐臭が強い：食滞
- 酸水緑水：肝気犯胃
- 粘り気があり、泡立っていて量が少ない：胃陰虚
- 痰が多く泡立っている：痰飲

【 症状と処方例 】

基本穴：

	経絡	意義	取穴部位
中脘	任脈	和胃止嘔	前正中線上、臍の上4寸
胃兪	膀胱経		第12胸椎・第1腰椎棘突起間の外1寸5分
足三里	胃経		膝を立て、外膝眼穴の下3寸
内関	心包経	理気降逆 (止吐要穴)	大陵穴から曲沢穴に向かい上2寸

1. 外感

[症状]

《偏寒》 - 嘔吐が急で激しい、嘔吐物は透き通った水様か薄い涎のような物が多い。

《偏熱》 - 頻繁に嘔吐する、飲水・飲食後すぐに嘔吐する。

随伴症状：感冒（外感表証）を伴う事が多い。

[処方例]

《偏寒》	経絡	意義	取穴部位
基本穴	***	****	* * * * * * * * * *
風門	膀胱経	宣肺疏風散寒	第2・3胸椎棘突起間の外1寸5分
列缺	肺経		太淵穴の上1寸5分、動脈拍動部のやや橈側に取る

《偏熱》	経絡	意義	取穴部位
基本穴	***	****	* * * * * * * * * *
外関	三焦経	発汗解表	陽池穴の上2寸、総指伸筋腱と小指伸筋腱の間を取る
大椎	督脈	清熱	第7頸椎・第1胸椎棘突起間

2. 食 滞

[症 状] 食滞、酸腐臭物を嘔吐、噯気、腹部膨満感、厭食、口臭、便秘または泥状便。舌苔厚腐、脈滑実。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
基本穴	***	****	* * * * * * * * * *
梁 門	胃 経	消食止嘔	臍の上4寸、前正中線の外1寸5分
天 枢	胃 経		臍の外2寸

3. 肝 鬱

[症 状] 食後に精神的な刺激を受け嘔吐する。往々にして吐くのが速く、軽症であれば吐後全快する。平素怒り易いものが多く、脇腹脹痛、脈弦。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
基本穴	***	****	* * * * * * * * * *
太 衝	肝 経	疏肝理気	第1・2中足骨底間の前陥凹部
期 門	肝 経		第9肋軟骨の付着部下際

4. 痰 飲

[症 状] 食物に痰や涎が混じった物を吐く。顔色が悪く、胸・部に重だるい圧迫感を感じ、心悸・眩暈を伴う事がある。舌淡、脈滑か濡。また脾虚症を伴うことも多い。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
基本穴	***	****	* * * * * * * * * *
豊 隆	胃 経	化痰消陰	外果の上8寸、条口穴の外方に一筋へだてた陥凹部を取る。
公 孫	脾 経		太白穴の後1寸

5. 脾胃虚弱

[症 状] 少し食べると悪心・嘔吐が起こる、症状が反復して起こる。顔色は艶がなくやや黄色い、倦怠無力感、食欲不振、腹脹、泥状便。舌淡、脈濡弱。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
基本穴	***	****	* * * * * * * * * *
脾 俞	膀胱経	健脾益胃	第 11・12 胸椎棘突起間の外 1 寸 5 分
公 孫	脾 経		太白穴の後 1 寸

6. 胃陰虚

[症 状] 反復し嘔吐する、嘔吐量は少なく唾だけの事も、何も吐き出せない事もある。

口が乾き、喉も渴く、空腹感はあるが食欲がない、その他各種陰虚症状。舌質紅少津、脈細数。

[処方例]

	経 絡	意 義	取 穴 部 位
基本穴	***	****	* * * * * * * * * *
脾 俞	膀胱経	滋胃養陰	第 11・12 胸椎棘突起間の外 1 寸 5 分
三陰交	脾 経		内果の上 3 寸、脛骨内側縁